

問題基盤型学習 —信頼される医療—

責任者・コーディネーター	人間科学科（哲学分野） 遠藤 寿一 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科（哲学・文学・法学・体育学分野） 情報科学科（数学分野）、物理学科、化学科、生物学科 外国語学科（英語分野）		
担当教員	遠藤准教授、平林教授、廣瀬講師、作山教授、小山助教 高橋教授、飯田講師、佐藤(英)教授、小松講師、寒河江助教、小田助教 中島准教授、東尾講師、岩淵助教、吉田助教、松政教授、三枝講師 八島助教、三上助教、中野准教授、小野准教授、Hobbs 准教授 工藤講師		
対象学年	第1学年	期 間	前期
区 分	講義	時 間 数	19.5 時間
単 位 数	1 単位		

■ 学習方針（講義概要等）

本科目は、本学の初年次教育の一環として全学部の第1学年の学生を対象に、自分たちで問題を発見し、解決するための自学自習能力および共同作業能力を育成することを目的とする。そのため、まず本学の建学の精神と歴史、および、医療人としての心構えを学んだ後、全学生を3学部混成のグループに分け、少人数による問題基盤型の学習を行う。具体的には、前半のワークショップ（WS）を通じて問題発見・解決のための姿勢や手法を学び、このWSの学習をもとに、後半のPBL テュートリアルでさらに高い次元で問題の解決策を検討し、成果を発表してもらう。

現代社会、特に医療の世界では、専門知識・技能に加え、共同作業に必要な協調性と責任感、自己学習能力、役割遂行能力、討議能力、発表能力がこれまで以上に求められ、そうした力の育成が大学教育に期待されている。共通教育センターはこれらの能力の基盤をつくる初年次教育に力を入れているが、3学部の学生がひとつの目標に向かって共同作業を行う本科目は、その中でも非常に重要な位置を占めている。本授業に参加する学生は、自分が将来期待されている能力を身につける格好の機会であるという意識を持って、積極的に問題基盤型学習に取り組んでもらいたい。

■ 一般目標（GIO）

与えられたテーマについて自己学習した上で、グループ討議へ積極的に参加し、問題点を抽出して解決策を検討するために必要な基礎的能力を身につける。また、討議の成果をまとめ、わかりやすい形で発表し、質疑を通じて、外部の意見をフィードバックして、さらに考察を深めていく姿勢を養う。

■ 到達目標 (SBO)

1. KJ法を使用して問題点を抽出できる。
2. 図書館やインターネットを利用して必要な知識や情報を収集できる。
3. 調べた情報に根拠づけができる。
4. 自己学習能力を高めることができる。
5. グループで協力して成果をまとめることができる。
6. 効果的なプレゼンテーションができる。
7. プレゼンテーションに対する的確なディスカッションができる。

■ 講義日程

【(矢) 東 1-A・東 2-C・東 2-D・東 2-E 講義室、Multimedia 教室、東研究棟 SGL 教室、西 1-A・西 1-E・西 1-F 講義室、大堀記念講堂】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/15	金	4	共通教育センター	担当教員全員	PBL オリエンテーション KJ法についての解説 (大堀記念講堂)
5/6	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>WS-1</u> アイスブレーキング KJ法による、テーマに関連した問題点の抽出 (東研究棟 SGL 教室)
5/13	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>WS-2</u> 抽出された問題点の整理 (東研究棟 SGL 教室)
5/20	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>WS-3</u> これまでの成果を発表できる形に集約する。 (東研究棟 SGL 教室)
5/27	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>WS-4</u> まとめ (東 1-A 講義室、東講 2-C・D・E 講義室、マルチメディア教室、西 1-A・E・F 講義室)
6/3	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>PBL テュートリアル-1</u> WSの成果をもとに、さらに深く追求したい事柄を抽出する。

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
					(東 1-A 講義室、西 1-A 講義室、東研究棟 SGL 教室)
6/10	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>PBL テュートリアル-2</u> 自己学習と討議 (東研究棟 SGL 教室)
6/17	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>PBL テュートリアル-3</u> 自己学習と討議 (東研究棟 SGL 教室)
6/24	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>PBL テュートリアル-4</u> 自己学習と討議 (東研究棟 SGL 教室)
7/1	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>PBL テュートリアル-5</u> 自己学習と討議 (東研究棟 SGL 教室)
7/8	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>PBL テュートリアル-6</u> 発表のための準備 (東研究棟 SGL 教室)
7/15	金	4	共通教育センター	担当教員全員	<u>PBL テュートリアル-7</u> 発表会(発表と討論) (東 1-A 講義室、東 2-C・D・E 講義室、マルチメディア教室、西 1-A・E・F 講義室)
8/26	金	4	共通教育センター	担当教員全員	報告書の作成 (東研究棟 SGL 教室)

■ 教科書・参考書

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
	授業で配布する資料を使用する。			

■ 成績評価方法

成績は 100 点満点で評価し、その配分は、以下のとおりとする。

- 出席：40%
- 教員による評価：40%

- 自己学習レポート：20%

■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	USB メモリ	62	レポート作成・提出用
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット (エルモ、東芝、他)	1	講義資料の提示